

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 5. 14

下水道機構の『新技術情報』 第45号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇  
お買い物へ行くときあちらこちらで金環日食観察グッズのコーナーを見かけます。5月21日は金環日食。日本では、25年前に沖縄で観察できた以来だそうで、そういえば小学生の時に父が観賞用のメガネを用意してくれたなあと25年前を思い出しました。

日本の本州で起きるのは129年ぶり、今回のような金環日食は300年後！だそうです。みなさん、観察のご用意はできていますか？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第45号をお届けします。

業務に Tea Break にどうぞ活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・5月10日(木)、国土交通省国土技術政策総合研究所の横田下水道研究室長をお迎えして、「下水道管渠の液状化被害とその対策」をテーマに技術サロンを開催しました！
- ・5月1日付け人事異動により機構へ着任した職員さんから自己紹介をいただいています

★機構の動き

- ・今週は、当機構資源循環研究部の柘岡研究員が IWA World Congress on Water, climate and Energy (アイルランド・ダブリン) へ参加し、小規模下水処理場における下水汚泥燃料化システムに関する実用化研究について口頭発表を行います

★Tea Break

- ・花めぐり (下水道機構 A 男さんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

- ・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

★国からの情報

- ・5月10日付け下水道ホットインフォメーション

-----  
インフォメーション (最新の話です)  
-----

- 5月10日(木)、国土交通省国土技術政策総合研究所の横田下水道研究室長をお迎えして、

「下水道管渠の液状化被害とその対策」をテーマに技術サロンを開催しました！

前々回（「津波及び放射性物質を含む汚泥対策」、JS 技術戦略部 野村部長）、前回（「東京の高度防災都市づくりに向けた新たな取組」、東京都下水道局 巖岩課長）に引き続き、今回も地震・防災関係をテーマに、中でも管路施設に焦点を当ててサロンを開催しました。ゲストの横田室長は、土木学会が事務局を務める浦安市液状化対策技術検討調査委員会の委員も務められ、また、当機構の液状化関係の検討においてご意見等を頂くなど、この分野に精通しておられます。

講演の主な内容は、管路施設における耐震化技術の有効性でした。東日本大震災での管路施設の被災は、被災自治体全体の管渠延長を分母とするため被災率では2%程度と小さくみえるのですが、実延長で600km以上、マンホール被害は15,000基以上となっています。今回の特徴は、全面的な液状化による管路施設の完全な閉塞が見られたことで、これが復旧を遅らせた大きな原因にもなっています。各地の被災状況分析により、砕石や固化による耐震化の効果が確認される一方、対策にあたっては適正な施工方法の周知等が重要であることが判明したそうです。今後、事例の再整理等を行い、指針等の改訂に反映していかれるそうです。また、今回は講演後の意見交換が非常に活発でした。マンホール突出と交通量との関係、開削以外の工法での液状化対策、液状化でのたるみ被害のメカニズム等々、専門技術的に興味ある活発な質疑が行われました。

さて、次回技術サロンは6月14日木曜日の17:00から。ゲストには横浜市環境創造局下水道施設部の下水道施設整備課長の折居良一郎様及び下水道設備課長の小原明様のお二人をお迎えして、「横浜市における下水処理施設等の計画的な修繕・改築への取り組み」をテーマに当機構会議室（東京・江戸川橋）にて開催します。皆様多数のご参加をお待ちしております！

参加申し込みは機構ホームページから。→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-305.htm>

※前回4月の技術サロン、東京都下水道局の巖岩計画課長の資料を専用サイト登録者のページに掲載しました。

登録者は、これまでのサロンの資料をご覧いただけます

公共団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

●5月1日付け人事異動により新たに二人の職員さんを迎えました。お二人から自己紹介をいただいておりますのでご紹介します！

=====

【研究第二部 主任研究員 井川 理さんからのメッセージです】

研究第二部の井川です。管清工業株式会社の技術部から参りました。

前職場では、主に下水道の維持管理に使用する機材の開発や不明水調査などを担当しておりました。

機材の開発では、この数年間、管路の自動洗浄装置（フラッシュゲート）の共同研究に携わっておりました。この装置は、下水道管路のたるみや伏越しなど、汚濁物やスカム等が堆積しやすい路線の上流側に導入し、流下下水を自動で貯留・解放するものです。

それにより、常に汚濁物等が無い状態を継続することができ、堆積した汚濁物による臭気の解消や、合流式下水道の場合では、雨天時に発生するファーストフラッシュによる汚濁負荷の軽減にも繋がる技術です。

下水道機構での仕事は、今までの職場で行ってきた業務とは、異なる内容も多く、毎日が勉強の日々ですが、一日も早く担当業務の内容を把握し、一人前の仕事ができるよう、一所懸命に頑張りますので、よろしくお願いたします。

=====

【資源循環研究部 研究員 小川 裕正さんからのメッセージです】

2012年5月1日付で資源循環研究部に着任致しました。着任してから1週間となり、久しぶりの電車通勤にもようやく慣れてきました。

私のこれまでの業務は、主に下水処理場や雨水ポンプ場、調整池等における土木担当者として設計業務等に従事してまいりました。

資源循環研究部の配属となり、これまでの業務とは異なることから、十分に職責をはたせるか不安ではありますが、私なりに精一杯務める所存ですので、よろしくお願いたします。

簡単な自己紹介ですが、生まれは千葉県木更津市です。四月にアウトレットができ、木更津も少し有名になってきました。買い物が近場で出来るようになり、地元住民としては大変嬉しい限りです。最近の小川家の休日は、ムサシ（黒柴）の散歩を兼ねて、娘（5歳）の自転車の練習をしています。夏までに補助輪を取るのが目標です。暖かくなってきたので、天気の良い日は庭でBBQするのも楽しみのひとつです。近くにお越しの際には、我が家のBBQへの飛び入り参加をお待ちしています。

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

●第56回 下水道新技術セミナー(テーマ：下水道における地震・津波対策)

【大阪会場】6月1日(金)13:00~16:45 (場所:大阪科学技術センター)

【東京会場】6月8日(金)13:00~16:45 (場所:発明会館)

※参加お申し込みはコチラ→ [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_056.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm)

★5月13日(日)~18日(金)

IWA World Congress on Water, climate and Energy (アイルランド・ダブリン)

当機構資源循環研究部の柘岡研究員が参加し、小規模下水処理場における下水汚泥燃料化システムに関する実用化研究について口頭発表を行います。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●花めぐり (下水道機構 A男さんからの投稿です)

5月の1、2日を休むと連続9日間の大型連休でした。皆様の連休はいかがでしたでしょうか? 家族サービスで疲れ果てた方、また、連休の初めには、バス事故、最終日には竜巻と大きな事故、災害等があり、テレビにかじり付いていた方も多かったと思います。

今年は寒さが長引いて、例年より遅くつつじやバラが咲き始めました。ようやく平年に戻ったような気がします。毎年、この頃には、花の名所巡りをするのが楽しみです。先日、「秩父羊山公園」の桜草のニュースがありました。藤の花では「亀戸天神」「あしかがフラワーパーク」、つつじの館林市の「つつじが岡公園」と行くところが多くて選ぶのが大変です。まだ早いですが、行田市市の蓮の花は、公園の遊水地を利用して作られており、観賞用通路も整備されておりお勧めです。まだまだ沢山よい所があり、これから夏まで忙しく楽しみな季節となりました。皆様も週末に花巡りでもどうですか。

我が家では、これからバラが咲き始めます。バラ園に行くたびに買って来て、ついつい増えてしまいました。手入れが大変ですが、うまく咲いてくれたときにはその苦労を忘れてしまいます。今、真っ白なバラを探しています。

機構へ来て一年が経ちました。この一年、夢中で過ごした感があります。時の経つのが早かったような遅かったような、複雑な気持ちです。様々な出来事があり、夢中で対応し後悔ばかりですが、めげずに頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

●掲載情報募集中!

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2012.5.10 付、国からの最新情報です)



○東日本大震災（第 109 報）の公表

東日本大震災に係る災害情報は、毎月 1 回更新されています。第 109 報が 5 月 7 日現在で公表されました。下水道関係について基本的に変更はありません（本復旧工事の完了により被害延長の微修正あり）。

[http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai\\_110311.html](http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html)

○平成 24 年度第 1 回下水道事業担当者会議を開催しました【下水道事業課】

本省と地方整備局等の下水道事業担当者間の連携強化を図るため、標記会議を 5 月 7 日に開催しました。下水道事業の執行にあたり、地方公共団体から様々なご相談を各地方整備局等で受けておりますが、その統一的な対応を図るとともに速やかな対応、業務の改善を実現するため、情報共有、意見交換を実施したものです。当日は、多岐にわたり有意義な意見交換ができたものと思います。今後とも、適時に会議を開催していきます。

●浜松医科大学シンポジウムに仙台市が参加いたします【仙台市】

浜松医科大学が主催する「災害に強い病院を目指した自助・共助の在り方ー災害医療コーディネーターとライフラインの重要性ー」と題するシンポジウムに仙台市が参加します。第 1 部は、「石巻医療圏における東日本大震災への対応」の演題で石巻赤十字病院 外科部長 石井正先生による基調講演、第 2 部は、「東日本大震災に学ぶライフライン確保策」をテーマにパネルディスカッションが行われます。パネリストは仙台市（水道・下水道・ガス）のほか、東北電力、NTTドコモ等。下水道の関係では、下水道（排水設備）管理者としての医療機関における心得（施設把握と被災時の対応）や公共下水道管理者との連携（下水道使用不可の際の対応）等の話題を予定しています。

（開催日時等）

平成 24 年 5 月 30 日（水） 16:00～18:30

於：アクトシティ浜松 コンgressセンター

[http://www.hama-med.ac.jp/uni\\_education\\_igakubu\\_igaku\\_chiiki.html](http://www.hama-med.ac.jp/uni_education_igakubu_igaku_chiiki.html)

（※HPによれば、既に定員に達しているようです。当日の状況などについて、またご報告いただければ幸いです。）

=====

【参考情報】

◆多賀城市仙塩浄化センター 13ヵ月ぶり本格稼働 <4/26 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/04/20120426t13018.htm>

◆芦田川流域下水の汚泥燃料化 <4/27 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201204270029.html>

◆ 県に 8 0 0 0 ベクレル超廃棄物の処分場要請 茨城 <4/27 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120427/ibr12042702010004-n1.htm>

◆ 上下水道 料金徴収を一元化 <4/27 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20120427/CK2012042702000104.html>

◆ 南相馬の現状視察 復興推進委・五百旗頭委員長ら <4/28 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/04/20120428t61013.htm>

◆ 東京スカイツリー 地球と共存 省エネ設備 <4/28 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/20120428/CK2012042802000109.html>

◆ 雨水調整池がスポーツ広場に 福岡 <4/29 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/299702>

◆ モロッコに 1 0 8 億円貸与 玄葉氏、下水道整備を支援 <5/5 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/120505/mds12050511230003-n1.htm>

◆ 汚泥の炭化肥料をミツマタに <5/7 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201205070022.html>

◆ 下水汚泥を固形燃料化 広島県、芦田川浄化センターへ施設 <5/8 山陽新聞>

[http://www.sanyo.oni.co.jp/news\\_s/news/d/2012050810160467](http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2012050810160467)

◆ 汚泥処理ろ過袋で特許 福岡市のベンチャー企業 <5/8 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/300937>

◆ 名古屋市内、道路の陥没年 3 0 0 件 下水管の老朽化原因 <5/9 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/national/update/0509/NGY201205090005.html>

◆ 南海地震・備える:雨水を飲料水に 高知・潮江中、造水装置「防災王」を設置  
断水時の給水に期待 /高知 <5/9 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kochi/news/20120509ddlk39040634000c.html>

◆ 6 市村に協力要請 県、指定廃棄物処理で 群馬 <5/10 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120510/gnm12051002040000-n1.htm>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町 3 番 1 号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ： <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

